

セプターカウンシル総会第4回会合の開催について

重要インフラの情報セキュリティ対策の向上を図るため、重要インフラ各分野のセプターが連携して情報共有を行うセプターカウンシルの総会第4回会合を開催しました。

総会議案のセプターカウンシルの新旧議長団の交代、総会オブザーバの承認、2011年度の活動報告及び2012年度の活動計画の概要は、以下の通りです。

新旧議長団の交代について

これまでセプターカウンシル総会議長を務めた三毛兼承氏(銀行等 CEPTOAR 代表)、並びに副議長を務めた和田洋幸氏(GAS CEPTOAR 代表)が退任し、新たに議長に青木隆典氏(放送 CEPTOAR 代表)、副議長に鈴木毅氏(損害保険 CEPTOAR 代表)を選出した。

総会オブザーバの承認について

ケーブルテレビCEPTOAR、株式会社ゆうちょ銀行、独立行政法人 情報処理推進機構、一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター、独立行政法人 情報通信研究機構を総会オブザーバに追加することを承認した。

2011年度の活動報告について

1. 活動概要

設置要綱「2. 活動」に基づき、幹事会及びワーキンググループにおいて以下の活動に取り組んだ。

- (1) 分野横断的な情報共有の推進を図るために、IT障害の未然防止の観点から相互理解及びベストプラクティス等具体的な事例の情報共有に取り組んだ。
 - 情報セキュリティ対策の強化に資する情報収集に取り組むとともに、ベストプラクティスの事例紹介等により、情報共有の拡充を図った。
 - 各セプターでの活動状況やセキュリティ対策への取り組み体制、IT の利用状況の情報共有を行い、相互理解の促進を図った。
- (2) 重要インフラのIT障害の未然防止等のため、重要インフラ事業者等に密接に関連する情報を、内閣官房情報セキュリティセンター等より重要インフラ事業者等へ提供する体制の調整及び管理に取り組んだ。

- WG 等の各種活動を通じ、セキュリティ対策の向上に向けた情報を提供する体制や受信者限定を確保することが必要とされる機微な情報を共有するための体制・仕組み、インシデント発生時等の緊急時における情報共有体制について、WG で検討を行った。

(3) 分野横断的な共通課題の発見及び共通認識の醸成に、各セクター及び内閣官房情報セキュリティセンターが連携して取り組んだ。

- 各セクターにおける情報セキュリティへの意識向上と対策強化に資することを目的に、環境変化に迅速に対応すべく関係機関との意見交換等を行った。
- 震災の際に、カウンシルの場を利用して分野間で注意喚起展開や互助活動を実施した。
 - 震災に便乗した日本語の標的型攻撃出現に関する注意喚起の展開
 - 放射性物質検査結果等の公表直後のアクセス集中が顕著な分野に対する、分野間でのボランティアミラーサイトの利用案内実施
 - 国民へ発信する重要情報のファイル形式(テキスト・CSV 形式の併記等)に関するアドバイザリー展開
 - 首相官邸、総務省、原子力安全・保安院の情報発信 URL の展開 等

2. 幹事会の活動

カウンシルの総合的な企画調整・運営を担い、カウンシル全体としての活動を検討するとともに、重要インフラ事業者のセキュリティ対策の向上に向けた情報共有体制について検討を行った。

- 延べ6回の会合を開催した。
- 分野間の情報共有に関するアプローチを検討する「情報共有に関する検討推進WG」を設立した。また、同 WG でHPレスポンス観測を試行し、観測データの取扱いを議論することとした。
- 毎回、出席者(各分野の幹事、オブザーバ、所管省庁、事務局)の間で、直近の活動等のトピックに関する情報交換を実施し、事業継続の上で重要なステークホルダーの動向を把握した。
- NISC主催の分野横断的演習へ各セクターが参加していることをカウンシル全体の活動の一つとしてとらえることとした。
- 「サイバー攻撃対応力向上の手引き」に関して修正要否を検討した。
- カウンシルの活動を充実させるため、ケーブルテレビCEPTOAR、情報通信研究機構(NICT)、情報処理推進機構(IPA)、JPCERT コーディネーションセンターをオブザーバに追加することを決定した。

3. 情報収集WGの活動

参加セクター間の知見の共有を図ることを目的に、オブザーバとの意見交換や、情報セキュリティ対策に係る政府・関係機関の動向や参考となる先駆的な活動、情報セキュリティの環境変化等に関する情報収集を行った。

- 延べ5回の会合を開催した。
- 東日本大震災の際に各セクターがとった対応について、情報交換を実施した。
- オブザーバ(日本銀行、日本経済団体連合会、金融情報システムセンター)と情報セキュ

リティの取組みに関する意見交換を実施した。

- 情報セキュリティ 2011 や B C P の充実等の NISC の推進する施策、政策会議の開催について紹介・意見交換を行った。
- 無線 LAN の重要インフラ分野との関わりや情報セキュリティに関する最新の業界動向について、アライドテレシス株式会社から御講演頂いた。

4. 相互理解WGの活動

セプター・重要インフラ事業者間の相互理解の促進や信頼関係の深化を図ることを目的に、各セプターでの活動状況やセキュリティ対策への取組体制、ITの利用状況等の情報共有を行った。

- 延べ5回の会合を開催した。
- 各セプターにおける IT 活用の現場や情報共有の取組み等について、相互訪問し現場担当者を交え意見交換を実施した。
- 証券分野、銀行分野、政府・行政サービス分野との相互理解を実施した。
- WG メンバー以外も招き、独立行政法人情報通信研究機構ネットワークセキュリティ研究所の視察を行い、最新の研究動向について理解を深めた。また、内閣府防災及び国土交通省の所管する有明の丘基幹的広域防災拠点の視察を行い、防災施設における情報システムについて理解を深めた。

5. 情報共有に関する検討推進 WG の活動

セプターカウンシルの場で行うセプター間の情報共有活動のアプローチ(要件や何を評価基準とするか等)を検討することを目的に、議論時間の取りにくい幹事会に対するディスカッション中心の場として活動を行った。

- 延べ5回の会合を開催した。
- 組織をまたがった情報共有活動の先行事例を調査し、成功要因等を整理した。
- カウンシルの場で実施する分野間での情報共有活動について議論を行った。
- 情報共有の具体的な議題を提供し、さらに構成員の IT 管理者の状況判断に資することを目的に HP レスポンス観測のトライアルを開始した。
- また、分野間の観測情報の具体的取扱いについて議論し、IP 分布、地理的分布等の面的に動向を把握可能な観測情報の提供を開始した。

6. カウンシル活動を継続・発展させるためのその他の活動

カウンシルの広報活動やセキュリティ技術動向等に関する情報共有を推進するとともに、重要インフラのすべての分野が本カウンシルの構成員として加われるよう、働きかけを行った。

- 総会出席者を対象にした有識者による講演会を本年度から開始した。
- 地方自治情報センター主催の「地方自治情報化推進フェア」のオープンセミナーにおいて、自治体セプター構成員等を対象にセプターカウンシルの活動についての講演を行った。
- セプターカウンシル未参加のセプターに対して、セプターカウンシルの活動状況等について説明するなどして積極的に働きかけを行った。

2012年度の活動計画について

1. 設置要綱「2. 活動」に記載した活動

- (1) 分野横断的な情報共有の推進を図るために、IT障害の未然防止の観点から相互理解及びベストプラクティス等具体的な事例の情報共有に取り組む
 - 引き続きベストプラクティス等の事例紹介により、情報共有の拡充を図る。
 - 各セプターでの活動状況やセキュリティ対策への取り組み体制、ITの利用状況等の情報共有を行い、相互理解の促進を図る。
- (2) 重要インフラのIT障害の未然防止等のため、重要インフラ事業者等に密接に関連する情報を、内閣官房情報セキュリティセンター等より重要インフラ事業者等へ提供する体制の調整及び管理に取り組む
 - セキュリティ対策の向上に向けた情報を提供する体制や受信者限定を確保することが必要とされる機微な情報を共有するための体制・仕組み、インシデント発生時等の緊急時における情報共有体制について、分野横断的演習(内閣官房情報セキュリティセンター主催)などの機会を活用しつつ、引き続き検討を進める。
 - セプターカウンシルの検討成果に関しては、必要に応じ改訂を行う等、適切に維持管理する。
- (3) 分野横断的な共通課題の発見及び共通認識の醸成に、各セプター及び内閣官房情報セキュリティセンターが連携して取り組む
 - 各セプターにおける情報セキュリティへの意識向上に資することを目的に、環境変化に迅速に対応すべく関係機関やオブザーバ機関等との意見交換等を行う。
 - セキュリティ技術動向や海外動向等、情報セキュリティ対策の強化に資する情報の収集及び知見の共有等に取り組む。

2. カウンシル活動を継続・発展させるためのその他の活動

- 報告会等の開催等セプターカウンシル全体としての活動を実施する。
- 必要に応じ、活動方法や運営方法、広報活動を見直す。
- 重要インフラのすべての分野から本カウンシルの構成員として加われるよう、引き続き働きかけを行う。
- その他セプターカウンシルの目的を達成するために幹事会が必要と認める事項を実施する。

【お問い合わせ先】

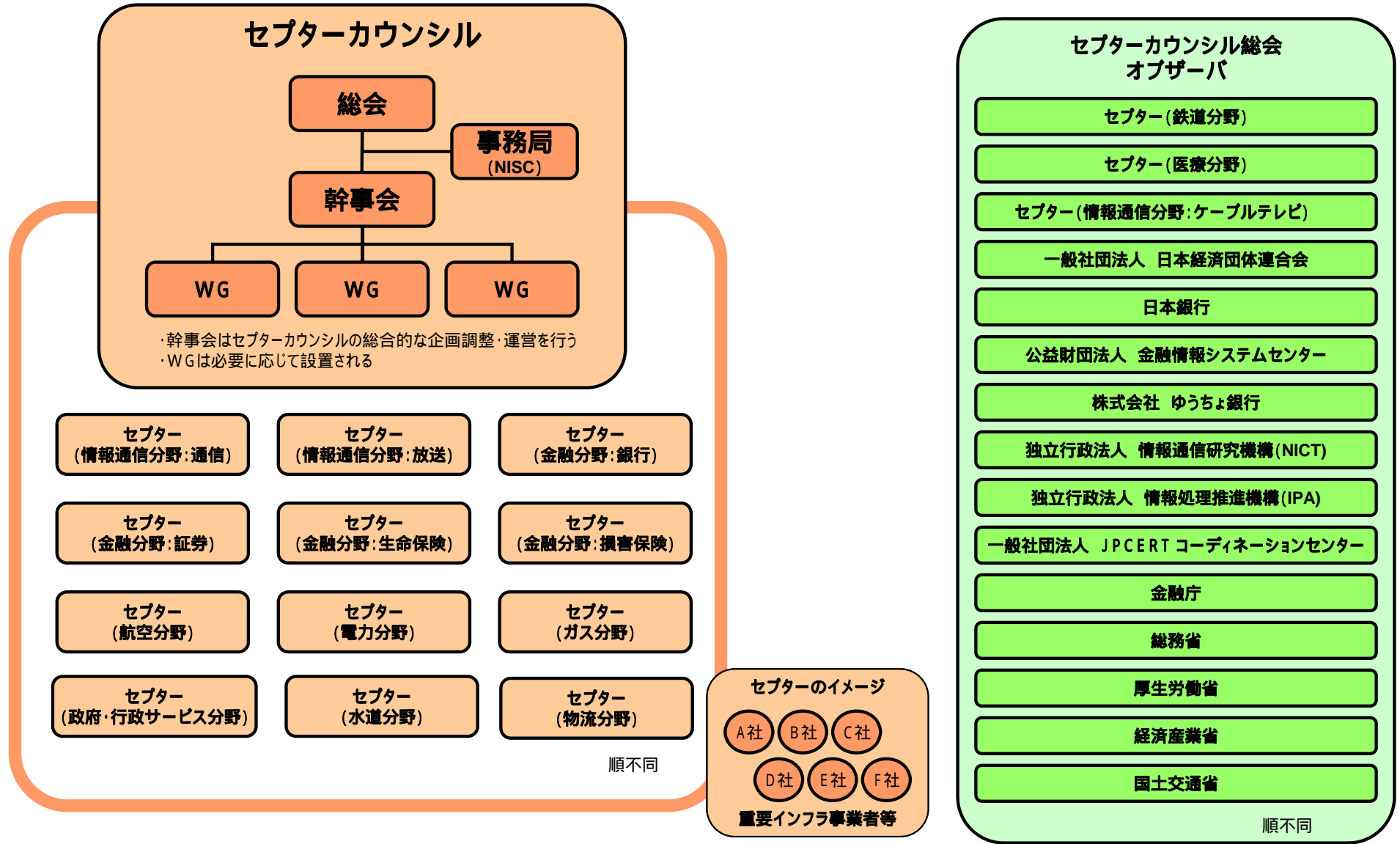
セプターカウンシル事務局(内閣官房情報セキュリティセンター)

電話: 03-3581-3957

メール: CEPTOAR-Council@cas.go.jp

セプターカウンシルへの問い合わせはセプターカウンシル事務局までお願いします。各セプターでは対応をいたしかねますので、御注意ください。

セプターカウンシルの概要 (2012年4月現在)



- ・2009年2月26日に創設。
- ・2012年4月12日に開催された総会(第4回)より、ケーブルテレビCEPTOAR(仮称)()、ゆうちょ銀行、情報通信研究機構、情報処理推進機構、JPCERTコーディネーションセンターがオブザーバとして加盟。
 設立準備中(2012年度中に設立予定)

セプターカウンシルを構成するセプターの代表者一覧

セプター名		所属	氏名
情報通信	T-CEPTOAR	一般財団法人日本データ通信協会 テレコム・アイザック推進会議 会長	飯塚 久夫 (NECビッグロープ(株)顧問)
	放送CEPTOAR	一般社団法人 日本民間放送連盟 事務局長兼会長室長	青木 隆典
金融	銀行等CEPTOAR	一般社団法人 全国銀行協会 事務委員長	三毛 兼承 (株)三菱東京UFJ銀行 常務取締役)
	証券CEPTOAR	日本証券業協会 常任理事・副会長 兼 CIO	増井 喜一郎
	生命保険CEPTOAR	社団法人 生命保険協会 情報システム委員長	高松 則雄 (住友生命保険(相) 代表取締役 専務執行役員)
	損害保険CEPTOAR	一般社団法人 日本損害保険協会 理事 業務企画部長	鈴木 毅
航空分野におけるCEPTOAR		定期航空協会 IT専門委員代表	幸重 孝典
電力CEPTOAR		電気事業連合会 理事 事務局長	稲田 豊
GAS CEPTOAR		一般社団法人 日本ガス協会 副事務局長	和田 洋幸
自治体CEPTOAR		財団法人 地方自治情報センター 理事	須貝 俊司
水道CEPTOAR		社団法人 日本水道協会 専務理事	尾崎 勝
物流CEPTOAR		一般社団法人 日本物流団体連合会 物流EDIセンター 調査役	磯貝 俊夫

セプターの概要

セプター名		事務局	構成員数
情報通信	T-CEPTOAR	一般財団法人 日本データ通信協会 テレコム・アイザック推進会議	29社・団体
	ケーブルテレビCEPTOAR(仮称) 1、2	社団法人 日本ケーブルテレビ連盟	(未定)
	放送CEPTOAR	一般社団法人 日本民間放送連盟	194社・団体
金融	銀行等CEPTOAR	一般社団法人 全国銀行協会	1,580社
	証券CEPTOAR	日本証券業協会	285社9機関
	生命保険CEPTOAR	社団法人 生命保険協会	43社
	損害保険CEPTOAR	一般社団法人 日本損害保険協会	28社(含むオプザ-バ-3社)
航空分野におけるCEPTOAR		定期航空協会	2グループ3機関
電力CEPTOAR		電気事業連合会	12社2機関
GAS CEPTOAR		一般社団法人 日本ガス協会	10社
自治体CEPTOAR		財団法人 地方自治情報センター	47都道府県1,742市町村区
水道CEPTOAR		社団法人 日本水道協会	8水道事業者
物流CEPTOAR		一般社団法人 日本物流団体連合会	16社6団体
鉄道CEPTOAR	1	国土交通省 鉄道局危機管理室	22社、1団体、1機関
医療CEPTOAR	1	厚生労働省 医政局研究開発振興課医療技術情報推進室	1グループ、2機関

1 オプザ-バセプター、 2 設立準備中(2012年度中に設立予定)